

事業主体者 TDK株式会社

住所 TDK歴史みらい館：秋田県にかほ市平沢字画書面15

電話 0184-35-6580

URL <https://www.tdk.co.jp/museum/>

事業概要

TDK歴史みらい館があるにかほ市は、TDK株式会社の創業者齋藤憲三氏の出身地であり、周辺にはTDKの創業当時から現在に至るまで、数多くの生産拠点が集積している。

TDK歴史みらい館は平成17年に創業70周年記念事業として、TDKのあゆみをモノづくりの歴史から紹介する「TDK歴史館」として建設された。しかし館内の展示内容は企業色が強く、一般の来館者には分かりにくいとの意見があった。

またTDK製品には、かつてはフェライト(磁性体)技術を活用した録音・録画用の磁気テープ、CDなど一般消費者の目に触れる製品が多数あったが、時代の変遷とともに、各種電気・電子製品等に組み込まれる磁性体チップの製造が多くなり、TDKブランドの認知度が若年層を中心に低下しているという危機感があった。

そこで平成28年に創業80周年の一環として展示内容を一新し、若年層に「モノづくり」や科学に興味を持ってもらうための施設、TDKブランドの認知度を高めるための施設として、全面的に展示内容をリニューアルすることになった。

TDK歴史みらい館の中の展示施設「インタラクティブマグネ

ティックフィールドシアターbyチームラボ」は、日本だけでなく世界で活躍中のウルトラテクノロジスト集団「チームラボ」とコラボした体験型シアター。最新のデジタル技術で、TDKの強みである“磁性”を、宇宙・地球・電子という3つのモードでそれぞれアーティスティックに表現し、触れると様々に変化するインタラクションが楽しめる。

特に電子モードは、エレクトロニクスとスピントロニクスの2モード構成になっており、電子の動き方を、学術的に正しく表現している。

平成30年6月から、地球の磁性がもたらす大自然の神秘くオーロラ>が迫力の360°映像で楽しめる「360°オーロラHMDシアター」が誕生。息を飲むようなオーロラの幻想的な輝きが目の前に広がり、臨場感豊かな絶景を楽しめる。

また「フューチャータウン2035」では、ARを活用した展示を行っており、「スマートハウス」では、IoTでつながる未来の居住空間に不可欠とされるセンシング技術と高速無線通信技術を、インタラクティブな映像技術により、疑似体験できる。

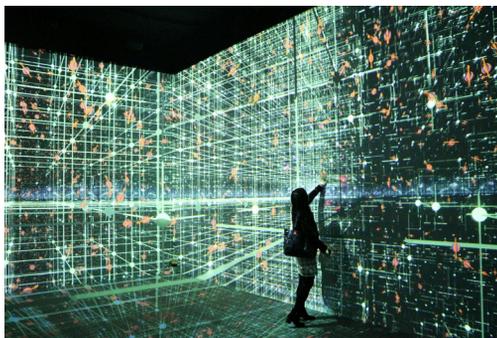
効果や課題

年間来館数は、約27,000人。来館者のリピート率が約25%。小学生から大学生まで、校外学習の一環で来館するケースが多く、高齢者向けの施設利用者や生涯学習の一環として団体で訪れる高齢者も増えてきている。

来館者の居住地は、秋田市・由利本荘市・にかほ市がそれぞれ約20%で、3市で全体の約60%を占める。来館者を増やすため、にかほ市内にある他の見学施設と連携してスタンプラリーな

どの集客対策の実施や、定期的な会議を開催して情報交換を行っている。

また期間限定の特別展示や、定期的に展示内容の一部リニューアルを実施して、にかほ市内の他の見学・観光施設との連携によって、魅力的なエリアにすることで来館者数を増やし、地域貢献していくと同時に、TDKのブランドイメージ向上に資することが今後の課題である。



映像に手を触れると、それに反応して変化するデジタルアート。

迫力の360度VR映像で楽しめる「360°オーロラHMDシアター」

